

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/6 (木)	1	3 湯口 新	1、子育てしやすい環境づくりについて	(1)高瀬地域子育て支援センターについて (2)子育て家庭の利用しやすい施設・環境・制度について
			2、市民公園の整備について	未就学児から高齢者まで利用しやすい公園の整備を。
			3、空き家対策について	空き家を老朽化・危険化させないための対策について
			4、要望書の取り扱いについて	(1)要望書の取り扱いについてのマニュアルや管理体制は。 (2)要望書に対する回答のルールは。
	2	22 横山 強	1、新永康病院建設に向けて	(1)新永康病院移設において、新設場所に決定した経緯を伺う。 (2)建設場所は現病院の耐震性などにより極めて高い緊急性を選定とした理由を伺う。 (3)新設場所の選定において、新永康病院新設に関わる地盤調査の結果を伺う。 (4)新設場所は、埋め立て地の盛土で、その下は沼のような土質と思われるが、地震が発生すれば、液状化になって医療機関としての機能が不能とならないのかを伺う。 (5)新設場所は海拔約3mで、地震、津波等の災害が発生した時、入院患者122人を安全な場所へ避難に向けて、対応できるのかを伺う。 (6)新設場所で、立地の面の向上等あらゆる面を総合的に判断した根拠を伺う。 (7)新設場所であらゆる面を総合的に判断し、決定したなかで、地震で津波が発生したら周辺地域は冠水と想定した時、各町から患者を搬送とするアクセスが遮断されると、緊急医療としての機能が作動できるのかを伺う。 (8)新設場所による建設は、ローコスト方式による全体工程の短縮とは、建築費用を抑制とは、詳細を伺うとともに、これまでの病院建築予算と比較とする根拠を伺う。 (9)新設場所とする永康病院とした疑問点、問題点等を伺う。 (10)新設場所は小高い場所に建設することが地震、津波が発生したとき患者の生命を守る義務であるべき医療機関のあり方である。東日本大震災で立証されているのに、三豊市行政は逆行した市政を再度見直しするべきではないのかを、伺う。 (11)新永康病院の建設は、現在の高台とした永康病院場所に建設するべきではないのかを伺う。
	3	14 金子辰男	1、農地、山林、家屋などの相続が負担となっている時代について	「農地・山林・家屋はもらっても負担」の時代となっている。土地家屋の荒廃が顕著になっている、昨今の事情を踏まえ、市はどのように取り組もうと考えているのか。 最近では維持管理ができないなどの諸事情で相続ができない等、農地、山林が重荷になっている人が多くなっている。そうなる耕作放棄地や荒廃土地、空き家になってくると考えられる。利用見込みのない土地を所有者が適切に手放せる方法や選択肢はないのか。不要になった農地など土地の維持管理に対して、これからの将来を見据え、どのように取り組もうと考えるのか。また、時代に即応した土地相続に関する制度の構築が必要と考える。市の考えを伺う。
			2、山本小学校の通学路の安全確保、安全対策などについて	学校の通学路の安全確保について問う。小学校付近の歩行通学している子どもたちの通学路の安全を不安視する保護者や地域の人に対して、市として交通安全対策、整備をどのように考えるのか。実例として、樋壺(ひだらい)橋の歩道のない橋の通行が危険であるとの声が多い。また、今後保育所、幼稚園もでき交通量は増すと考えられるため、歩道設置が必要と考えられる。祇園団地のそばの三叉路も交通量も多いので、安全を確保することが必要ではないか。今後の通学路の整備、安全対策を伺う。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/6 (木)	4	4 田中達也	1、地域事業者へのキャッシュレス決済浸透策について	10月の消費税引き上げに伴い実施される消費者還元は、キャッシュレス決済のみを対象に行われることとなっており、地域事業者のキャッシュレス決済対応は急務と考える。国のキャッシュレス振興策に加え、市として何ができるのかについて問う。
			2、みとよクエストの結果と今後の活用について	昨年12月から本年2月にかけて行われた観光振興事業「みとよクエスト～冬を攻略編～」の成果と、開発したスマートフォンアプリの今後の活用について問う。
			3、昨年の避難指示の結果と今年度の対策について	昨年の7月豪雨災害における避難指示について、県のアンケート結果を踏まえ、どのような問題点があったのか、また本年度はどのような対策を行うかについて問う。
	5	12 丸戸研二	1、荒廃竹林の増加と土砂災害の防止について	(1) 荒廃竹林の増加と対策事業の現状 (2) 土砂災害との関連性 (3) 治山事業の必要性
			2、スポーツ振興と地域活性化について	(1) スポーツ振興課を設置した意義 (2) スポーツが持つ力と地域活性化 (3) 施設の充実 (4) 生き生きと元気に活躍できる社会の構築とスポーツ振興
			3、小規模ため池の整備について	(1) 小規模ため池整備の現状 (2) 未整備ため池への対策
6/7 (金)	6	21 為広員史	1、役目の終了した公共施設の取り壊しについて	三豊クリアプラザの取り壊し予定を聞く。
			2、火葬場の休場日について	市民サービスの面からも2火葬場の休場日をずらせないか。
	7	16 瀧本文子	1、三豊市男女共同参画を推進するにあたって	人口減少が続く中、すべての個人、一人一人が個性と能力を十分に発揮できる社会を実現することが重要になっている。また、性的少数者など多様な価値観を持つ人々への理解促進をはじめ、人権が尊重され、多様な生き方が実現できる社会づくりが急がれる。 (1) 今年度、男女共同参画推進ネットワーク会議は、政策部から市民部人権課に担当が移行し、活動補助金が打ち切られた。その経緯、理由について伺う。 (2) 性の多様性を尊重するパートナーシップ制度の取り組み状況について伺う。 (3) 多文化共生の観点から、多言語使用など市としての取り組み状況を伺う。
			2、豊中幼稚園について	全国的に少子化に歯止めがかからず、三豊市でも合併時515人だった出生数が、昨年は394人となり、大幅に減少し続け、危機的状況にある。そんな中、三豊市で生まれ育つすべての子どもが、健やかに成長できる地域社会をめざし、一人一人の子どもが社会の中で大切に育てられること。そして質の高い幼児教育・保育が保証され、保育環境を充実させることは、喫緊の課題である。 (1) 送迎用バスの運行が来年度より取りやめとなることについて、その後の進捗状況 (2) 他の幼稚園との公平性が廃止の理由ということについて (3) 園外保育の考え方について (4) 分園化について

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/7 (金)	8	8 水本真奈美	1、障害児・発達障害者支援について	(1) 医療的ケア児保育支援モデル事業が平成29年度から実施となっているが、本市の医療的ケア児の保育ニーズの現状と課題、取り組みについて伺う。 (2) 発達障害のある子とその家族の地域生活の向上を図るため、家庭・教育・福祉「トライアングルプロジェクト」の取り組み、推進について伺う。
			2、食品ロス削減について	まだ食べられるにもかかわらず廃棄されている食品、いわゆる「食品ロス」は年間646万トンと推計されている。食品ロスの削減を目指す食品ロス推進法が5月24日に成立し、政府や自治体、企業の責務や消費者の役割を定め、国民運動として問題解決に取り組むよう求められている。 (1) 本市の現状と課題 (2) 市民や事業者の取り組み推進 (3) 食品ロスに向けた食育・環境教育の推進 (4) フードバンクや子ども食堂などの取り組みを推進する考えを伺う。
			3、観光名所、特産品、ゆるキャラや動植物まで多彩なデザインの公共配布カード作成について	マンホールカードやダムカード、観光名所カードなど、本市オリジナルの観光情報カードを作成し、観光振興につなげる考えを伺う。
	9	2 高木 修	1、都市計画事業について	今年度予算に計画書の策定が盛り込まれているが、三豊市のまちづくりの基本となるものと、期待が膨らむ。現在の進捗状況と、計画書策定のタイムテーブルを伺う。
			2、淡水化プラントの導入について	三豊市にとって、淡水化プラントは新たな水資源確保の切り札ともなり得るものと思うが、現段階での検討の状況と、導入の方向性について伺う。
			3、定住促進について	若者の地元への定着化、U I Jターンの促進において、キーポイントは「仕事」である。企業立地促進等、就労機会の確保への取り組みについて伺う。
			4、観光振興について	紫雲出山、父母ヶ浜等の観光スポットが大人気で、来訪者が急激に増えている。その対応に執行部も苦労が絶えないと思うが、人が来てくれる割にはお金を落としてくれる仕掛けが追いついていないと思う。 今年度重点施策にもうたわれているが、「観光の産業化」の方向性について伺う。
	10	9 込山文吉	1、バリアフリー計画の推進について	(1) 公共交通機関のバリアフリー推進状況を伺う。 (2) 公共施設のバリアフリー推進状況を伺う。 (3) バリアフリー教育の取り組み状況・課題について伺う。 (4) マスタープラン策定取り組みについての取り組みを伺う。
			2、重点「道の駅」たからだの里さいたについて	(1) 重点「道の駅」の認定を受けるにあたり掲げた事業の推進状況を伺う。 (2) 平成30年度重点道の駅に三好市大歩危が認定され、重点候補に綾川町滝の宮が認定されている。国道32号線「たからだの里さいた」前後に重点道の駅が出来るが、市の認識を伺う。 (3) 事業が進んでいないと認識しているが、展望と課題を伺う。
			3、三豊市立学校再編整備について	学校再編整備基本方針(2期)について伺う。 (1) 1期での合併統廃合についての総括を伺う。 (2) まちづくり・地域コミュニティー・防災の観点からの総括も必要である。市長は1期の統廃合をどの様に総括されているのか伺う。 (3) 中学校は答申重視との事だが、クラブ活動・施設更新などの課題が山積していると認識している。どの様な議論から答申重視となったのか、経緯を伺う。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第2回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/10 (月)	14	6 三木秀樹	1、本当に5年間、委託業者は「ふれあいパークみの」等を維持、経営出来るのか。随意委託した責任者の市長見解を聞く。	今年の、4月から「サクセス(本社高松市)、香洋石油(詫間町)」が委託経営を始めたが、不人気のうわさが絶えない。食事が「まずい」、朝令暮改の会社の指示、以前どんなに悪い時でも200人は超えていたが、今は120~30人の入館者。3月定例会予算委員会でも発言したが、市民が創った大きな財産(100名を超える宿泊所、素晴らしい温泉等)を、現市長の時代の「自信の無い判断(1社のみのお札)」により現在も危惧する。本当に今後、5年間維持存続できるのか。
			2、「公平サービス」と詭弁をろうして「豊中幼稚園スクールバス廃止」するのは何故か、教育長に聞く。	行政として「同一サービスでない」と市民の理解が得られない」と当該総務課長は、昨年秋に2020年3月末をもって同幼稚園のスクールバス廃止を通告した。教育委員会組織の決定とも明言した。何点か、同幼稚園の保護者の声を基に、「公平サービスの中身」と「教育委員会への不信及び疑問点」を聞く。
			3、薬物やアルコール依存より治療が難しい「ゲーム依存症」の子ども達の対策は、三豊市を挙げて取り組む大きな問題と思うが、見解を聞く。	依存症になれば、家庭だけの対応では「絶対無理」(久里浜医療センター医院長)と言われる「ゲーム障害」が、世界保健機関(WHO)で「新たな依存症」としても認定された。3月議会でも発言したが、市内の(幼稚園)小学校、中学校の(幼児)児童・生徒のネット利用調査を行ったのか。教育委員会だけの問題でなく、三豊市組織を挙げて早急に「実態把握」「対策企画」等を行う必要があると思うが、教育長及び市長の見解を聞く。